

平成 28 年度事業報告書

当センターの設置目的である豊かで活力ある長寿社会の実現に向けて、関係機関・団体と連携を図りながら、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加を推進するための諸事業を実施しました。

人生 100 年時代を迎え、シニア世代の生き方や価値観が変化しており、急激な高齢化社会の進行や人口減少化の中、高齢者自らが地域の一員として、地域社会を支えていくことが求められています。センターでは、時代に即応した役割を果たすため、県の総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン」で目指す「人生二毛作」社会実現の施策とも呼応して、「誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現」を目指し、事業を進めてきました。

情報誌発行事業では、シニアのための情報誌「信州りらく」を発行し、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動等に関する情報を発信し、活力ある長寿社会づくりの大切さを呼び掛けました。

広報啓発事業では、県内各地で活躍するシニアの活動を紹介した「人生二毛作実践事例集」を作成し、関係機関・団体等に配布しました。今後、「人生二毛作」社会づくり推進に向けた意識啓発に、積極的に活用して参ります。

いきいき中高年社会貢献活動支援事業では、中高年者の社会参加活動を推進するため、地域社会との関わりを深める活動に支援を行い、居場所と出番がある長寿社会の形成を推進しました。

高齢者地域活動会議運営事業では、高齢者の社会参加をテーマに、県民参加のタウンミーティングをセンター各支部で開催するとともに、市町村・ハローワーク等の関係機関が参加する「ネットワーク会議」を開催し、高齢者の社会参加活動を促す取組を推進しました。

長野県シニア大学運営事業では、高齢者の仲間づくりと知識の涵養を高めながら、地域と積極的に関わる人材を育成することに重きをおいた大学運営を行い、28年度は1,001人の皆様が卒業されました。

また、地域課題を的確に捉え、その課題を解決するための専門的なスキルを持った人材を養成する「新たな学びの場」の開設について、10名の委員で構成する開設検討委員会で検討を行うと共に県との協議を進め、シニア大学の長野学部に「地域プロデュース専門コース」をモデルとして設置し、29年度からにスタートすることとしました。

信州ねんりんピック開催事業では、高齢者の文化・芸術とスポーツの祭典「信州ねんりんピック」を大町市及び塩尻市を会場に開催し、県下各地から延べ2,700人の高齢者等の皆様の参加をいただきました。

また、第29回全国健康福祉祭ながさき大会へ長野県選手団を派遣し、全国の方々とふれあいと交流を深めるなど、生きがいと健康づくりを推進しました。

「賛助会」については、個人会員、法人会員ともに減少傾向が続いているため、各地区賛助会や活動サポーターを通じ、加入促進に向けた取組を引き続き行いました。

賛助会員グループ活動への支援では、グループの活動を円滑かつ積極的に推進するため、その活動経費の一部を助成し、賛助会員が行う社会参加活動など多様な活動を支援しました。

高齢者社会参加促進事業では、6名体制となった「シニア活動推進コーディネーター」を本部及び県下5地域に配置し、従来にはない多様な組織との連携強化により、高齢者の社会参加を支援しました。

1 意識づくり

(1) 情報提供事業

高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動等に関する情報を発信し、活力ある長寿社会づくりの大切さを呼び掛けました。

① 情報誌発行事業

高齢者に関係の深い文化や社会参加活動等に関する情報を発信し、生きがい・健康づくりや社会参加に対する意識の高揚を図ってきました。

また、情報誌をシニア大学生に配付し、センター事業のPRとともに賛助会員加入促進並びに社会参加活動の啓発を行いました。

そして、センターの新たな方向性に対応するため、情報誌企画・編集委員会を1回開催し、情報誌のあり方について検討を行いました。

ア 誌名 「信州りらく」

イ 発行回数 年4回(4月、7月、10月、1月)

ウ 発行部数 4月 5,200部 7月 5,200部 10月 5,200部 1月 5,200部

エ 配布先 賛助会員、市町村、図書館、公民館、公的病院等

オ 支部通信員の設置 センター各支部に配置の活動サポーターから、地域の身近な情報を提供していただくとともに、読者の声を情報誌の編集に反映させました。

② 広報啓発事業

県内各地で活躍するシニアの活動を、シニア活動推進コーディネーターが情報収集し、まとめた「人生二毛作実践事例集」を作成し、多様なステージで活躍する参考となるよう、関係団体等にPR・配布しました。

また、センターの役割や事業体系・内容等を紹介したパンフレットの配布により、広く県民等に周知するとともに、報道機関等への情報提供を積極的に行い、高齢者の生きがい・健康づくり、社会参加の啓発を推進しました。

更に、賛助会員の加入促進に向け、加入案内パンフレットを作成・配布し、シニア大学の学生や県民等へのPRに努めました。

(2) 啓発普及事業

高齢者の生きがいと健康づくりに対する県民各層の意識の高揚を図るため、広報啓発活動を実施しました。

① ホームページ運営事業

ホームページに、イベント、事業、募集案内、情報誌「信州りらく」、地区賛助会の会報、人生二毛作かわら版、シニア大学、ねんりんピック等に関する最新情報を掲載し、センターへの理解や協力が促進されるよう情報発信を行いました。

② 表彰事業

高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動に功績のあった個人及び団体を、信州ねんりんピック式典の席上で表彰し、賛助会員活動の一層の推進を図りました。

ア 期 日 平成28年10月1日(土)

イ 場 所 塩尻市レザンホール(塩尻市)

ウ 受賞者 個人9人、団体7グループ・1団体

(3) 活動推進事業

高齢者等による社会参加活動を推進するため、活動経費の助成等を行いました。

① センター支部活動事業

明るく豊かな長寿社会づくりを推進するため、センター支部の自主的な活動を促進することを目的に実施しました。

② いきいき中高年社会貢献活動支援事業

中高年者が地域社会への関わりを深めるきっかけづくりとするため、地域社会へ貢献しようとする 概ね 50 歳以上の中高年者を中心に結成されたグループを対象に、その活動経費を助成しました。

▶ 助成額 11 グループ 1,200,000 円（対前年比 125.7%）

② 高齢者地域活動会議運営事業

高齢者の社会参加をテーマに、県民参加のタウンミーティング（県民大会）を県下 10 地域で 12 回開催し、意見交換・情報交換を行いました。また、人生二毛作社会を推進させるため、市町村、市町村社協、ハローワーク等の関係機関が参加し、シニア活動推進コーディネーターとの連携を図りながら、「ネットワーク会議」を開催しました。

2 人づくり

人材育成事業

社会参加意欲の醸成とその実践力を高めるとともに、高齢者の生きがいと健康づくりを推進しました。

(1) 長野県シニア大学運営事業

① 高齢者の積極的な社会参加の実践者を養成するとともに、仲間づくりと知識の涵養を高めながら、自らの生きがいと健康づくりを図るため、長野県シニア大学を 10 学部において実施しました。（2 年制）

ア 実施内容 授業時間等 年 60 時間（4 時間×15 日）

（1 学年 教養講座 24 時間、実技講座 20 時間、実践講座 16 時間）

（2 学年 教養講座 20 時間、実技講座 20 時間、実践講座 20 時間）

イ 授業料 1 人年額 10,000 円開催日 平成 28 年 11 月 25 日（金）

ウ 募集定員 2,500 人（1 学年 1,200 人、2 学年 1,300 人）

1 学年入学実績 1,044 人、2 学年進級者数 1,025 人（年度当初人数）

エ 卒業者数 1,001 人

③ シニア大学運営委員会において、新たな「学びの場」開設検討委員会の報告や、各学部の講座内容、学生へのアンケート結果等について検討しました。

開催日 平成 28 年 11 月 25 日（金）

③ 社会活動推進員の講座運営能力の向上を図るため、研修を実施しました。

(2) 信州人生二毛作 新たな「学びの場」開設準備事業

様々な地域課題に向き合って解決するスキルを持ったリーダーや、リーダーとともに活動できる人材を養成する「学びの場」の開設について、10 名の委員で構成する開設検討委員会で検討を行うと共に、県との協議を進め、シニア大学の長野学部に「地域プロデュース専門コース」をモデルとして設置し、29 年度からにスタートすることとしました。

開催日 平成 28 年 7 月 19 日（火）

平成 28 年 8 月 18 日（木）

平成 28 年 9 月 7 日（水）

平成 28 年 10 月 3 日（月）

平成 28 年 11 月 18 日（金）

3 仲間づくり・健康づくり

(1) 推進事業

高齢者による文化・芸術活動やスポーツ活動などに関する多彩なイベントを開催し、生きがいと健康づくりを推進するため諸事業を実施しました。

① 信州ねんりんピック開催事業

長寿社会に対する理解を深め、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加を推進する契機とするため、高齢者を中心とする多くの県民が参加する文化・芸術祭典及びスポーツ交流大会を、県及び各種団体等との共催により開催し、延べ2,700人の皆様に参加をいただきました。

ア 文化・芸術交流大会

(ア) 式典、活動見本市、ステージ発表、意見交換会等

- ▶ 期 日 平成28年10月1日(土)
- ▶ 場 所 塩尻市レザンホール
- ▶ 内 容

<式典>

- ・社会福祉表彰(知事表彰) : 個人5人、3団体
- ・長野県長寿社会開発センター表彰(再掲) : 個人9人、団体7グループ・1団体

<活動事例紹介>

- ・人生二毛作を实践されている3グループの活動を、映像とインタビューで紹介

<「人生二毛作」活動見本市>

- ・様々な人生二毛作活動を行う、27の団体・グループの活動状況の展示と紹介

<ステージ発表>

- ・音楽関係の活動で活躍する、3グループのステージ発表

<みんなで意見交換会>

- ・「人生二毛作ってこれなんダネ!」を見つける、参加者全員による意見交換会

<クロージング>

- ・唱歌の合唱と富くじ抽選会 [来場者 約700人]

(イ) 高齢者作品展

- ▶ 期 日 平成28年9月30日(金)～10月2日(日)
- ▶ 場 所 塩尻総合文化センター、塩尻市レザンホール
- ▶ 内 容 日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真
出品数 254点 [来場者3日間計 約1,000人]

(ウ) 囲碁・将棋大会

- ▶ 期 日 平成28年10月1日(土)
- ▶ 場 所 塩尻総合文化センター [参加者 約100人]

イ スポーツ交流大会

- ▶ 期 日 平成28年9月10日(土)
- ▶ 場 所 大町市運動公園
- ▶ 内 容 ダンススポーツ、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ソフトテニス、ソフトバレーボール、ペタンク、ウォークラリー、弓道、テニス、マレットゴルフ(10種目) [参加者 約900人]

② 全国健康福祉祭選手派遣事業

「長崎でひらけ長寿の夢・みらい」をテーマとした第29回全国健康福祉祭ながさき大会へ選手を派遣し、全国の高齢者とのふれあいと交流を図りました。

ア 期 日 平成 28 年 10 月 15 日（土）～18 日（火） 4 日間

イ 場 所 長崎県長崎市ほか

ウ 参加種目

〈スポーツ交流大会〉 14 種目

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、
ゴルフ、弓道、グラウンド・ゴルフ、太極拳、ウォークラリー、ソフトバレー
ボール、ダンススポーツ、サッカー

〈文化交流会〉 2 種目

囲碁、健康マーじゃん

〈関連イベント〉 美術展、シンポジウム等

エ 本県の選手団 134 人（監督・選手 113 人、同行者 21 人）

オ 主な成績 ダンススポーツ 第 3 位（個人戦）、優秀賞（個人戦）

ペタンク 第 3 位（団体戦）

テニス 優秀賞（団体戦）

ソフトテニス 優秀賞（団体戦）

ウォークラリー 優秀賞（団体戦）

ソフトバレーボール 優秀賞（団体戦）

卓球 優秀賞（団体戦）

健康マーじゃん 最高齢賞（個人）

(2) 活動推進事業

地区賛助会活動への助言・支援、グループ活動への助成等により、会員への活動支援と入会促進を推進しました。

① 賛助会員募集・活動推進事業

活動サポーターの研修会を開催し、会員募集活動の促進、活動グループの育成を進めるとともに、シニア大学生への説明会や情報誌配付による P R 等、積極的に会員募集を行いました。

また、個人賛助会員の特典となる、料金の割引サービスを提供する「割引協力店名簿」を配布しました。

ア 活動サポーター研修会

▶ 開催期日 平成 28 年 7 月 27 日（水） 参加者数 37 人

イ 賛助会員等の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

▶ 個人会員 3,182 人 法人会員 69 団体

▶ 活動グループ数 179 グループ 2,310 人

▶ 割引協力店 280 施設

② 地区賛助会運営費交付事業

地区賛助会が行う活動発表会の開催、会報の発行、会員の加入促進など、運営に係る経費を交付しました。

▶ 交付額 1,948,000 円

③ 地区賛助会連絡協議会運営事業

賛助会員代表（20 人）と支部事務局長（10 人）から構成する連絡協議会を開催し、「地区賛助会活動の推進について」及び「長寿社会開発センター事業等のあり方について」意見交換するとともに地区賛助会活動の連絡調整を図りました。

- ▶ 連絡協議会 2 回開催（6 月、12 月）

④ 賛助会員グループ活動支援事業

賛助会員グループの活動を積極的に推進するため、活動経費の一部を助成しました。

- ▶ 助成額 176 グループ 2,484,000 円

なお、社会貢献活動加算は、72 のグループに対して助成しました。

4 コーディネートの仕組みづくり

高齢者の社会参加ニーズと地域社会の高齢者に対するニーズ情報を一元的に提供する「シニア活動推進コーディネーター」6 名を配置し、ネットワーク会議等の開催や関係団体との連携により、様々な形での社会参加を創出するとともに、各地域で開催したタウンミーティング（県民大会）の開催支援等により、高齢者の社会参加を支援しました。

(1) 高齢者社会参加促進事業

「シニア活動推進コーディネーター」を本部及び 5 支部に配置し、市町村、市町村社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係団体と連携体制を構築し、情報共有を図ることを通じ、高齢者と地域社会のニーズのマッチングを行うとともに、シニア層の様々な取組事例等を情報発信することにより、高齢者の社会参加を支援しました。

- ▶ コーディネーターの支援による新たな社会参加の主な事例
 - ・ 県が推進する信州子どもカフェへのシニアの参加
 - ・ 子育てサークルと連携したシニアの子守ボランティアの参加推進
 - ・ 浅間リサーチエクステンションセンター（AREC）及び県と連携し、就職を希望するシニア人材（57 人）と地域企業（22 社）との交流会を開催
- ▶ 県下 10 地域でのタウンミーティング（県民大会）の開催を支援し、高齢者の社会参加活動促進のための取組を推進（再掲）
- ▶ コーディネーターの相談件数 延べ 3,532 件
- ▶ 人生二毛作かわら版の発行 1 回

5 センターの運営

センターの運営について審議するため理事会、評議員会を開催したほか、事業の円滑な推進を図るため支部事務局次長等会議等を開催しました。

(1) 理事会

- ① 第 12 回理事会 平成 28 年 5 月 18 日（水）
 - ▶ 平成 27 年度事業報告、収支決算等について決議
- ② 第 13 回理事会 平成 29 年 3 月 6 日（月）
 - ▶ 平成 29 年度事業計画、収支予算等について決議

(2) 評議員会

- ① 第 11 回評議員会 平成 28 年 6 月 9 日（木）
 - ▶ 平成 27 年度事業報告、収支決算等について決議
- ② 第 12 回評議員会 平成 29 年 3 月 21 日（火）
 - ▶ 平成 29 年度事業計画、収支予算等について決議

(3) その他の会議等

① 支部事務局次長等会議

ア 平成 28 年 4 月 26 日 (火)

- ▶ 平成 28 年度事業の推進等について協議、意見交換

イ 平成 28 年 12 月 19 日 (月)

- ▶ 平成 29 年度事業概要等について協議、意見交換

② 地区賛助会連絡協議会

ア 平成 28 年 6 月 20 日 (月)

- ▶ 平成 28 年度事業の推進等について協議、意見交換

イ 平成 28 年 12 月 22 日 (木)

- ▶ 平成 29 年度事業概要等について協議、意見交換

③ 情報誌企画・編集委員会

平成 28 年 12 月 6 日 (火)

- ▶ 平成 27 年度検討結果の確認、平成 29 年度編集方針等について協議

④ 2016 信州ねんりんピック実行委員会

平成 28 年 4 月 20 日 (水)

- ▶ 実行委員会報告、準備日程等について、確認・協議

(4) 監査

監事監査 平成 28 年 5 月 9 日 (月)

- ▶ 平成 27 年度事業執行状況及び収支決算の状況等について